

第36回富山大学薬学部 附属薬用植物園一般公開



ジギタリス
Digitalis purpurea
(ゴマノハグサ科)

ヨーロッパ原産で、日本には明治時代に渡来した。比較的栽培が容易であり、現在ではほとんどが観賞用である。

幼苗期の葉がコンフリーに似るため誤食事故があり、県内でも報告されている。

生薬名：ジギタリス 利用部位：葉



カギクマバナナルコユリ
Polygonatum sibiricum
(ユリ科)

葉の先端がかぎ状に湾曲する。

生薬名の「黄精」は、もともと中国産の本種の根茎を指す。日本では、古くから近縁種のナルコユリの根茎を黄精として用いてきた。

生薬名：黄精(オウセイ) 利用部位：根茎

2014年5月31日(土) - 6月1日(日)

【開園時間】 9:00~16:00

【入園料】 無料

園内イベント(詳細は当日受付にて)

10:00~:園内観察ツアー

13:00~:味覚変化体験!

植物の苗をプレゼント!(先着50名様)

5月31日:ギョウジャニンニク

6月1日:サクラソウ

希望者にはカブトムシの幼虫もプレゼント!!(先着順)

薬学部附属
薬用植物園



富山大学杉谷キャンパス

医薬系事務部医薬系総務グループ

富山市杉谷2630 TEL.076-434-7015

<http://www.pha.u-toyama.ac.jp/index-j.html>

交通のご案内

○富山西I.C.から車で約4分 ○高岡駅から加越能バス(2番乗場)で約50分

○富山駅から富山地方鉄道バス(3番乗場)で約30分